

都道府県対抗女子駅伝

竹村紗英 「緊張したけど楽しかった」



8区の登坂を走る竹村紗英選手 (3km 11分26秒)

第44回全国都道府県対抗女子駅伝大会は京都市のたけびしスタジアム京都を発着の9区間、42.195kmで行われました。今年は浜田JASの卒業生二人[大浜歩花(平田高校)竹村紗英(浜田一中)]がエントリーされました。大浜選手は怪我の回復が遅くなり走れませんでしたが竹村選手は8区(3km)を走る事ができました。

島根チームは2区までは30位台でレースを展開しましたが後半は徐々に順位を落とし竹村選手に41位でタスキが渡されて約3kmの上り坂の苦しいコースで43位と順位は落としましたが粘りの走りでアンカーにつなぐことができました。

竹村選手にレース後に話を聞くと「選手を待つまでのアップが難しかった。足りない感じで走った」「普段は後半で遅れるが、今日は2000m~3000mで粘ることができた」「来年も走れるように頑張りたい」「春先のトラック競技で記録を出し、全中駅伝で今年より順位を上げたい。そのために朝練なども考える」などの前向きな反省を聞き春からの活躍が楽しみになりました。 ガンバレ! 竹村

島根県チーム 43位 2時間27分30秒

